

# 石狩浜から世界が見える

昨秋、浜辺で瓶を拾いました。

2004年は、数多くの台風が日本列島を襲いました。石狩浜でもそのたびに大波が打ち寄せましたが、そんな次の日には、浜辺にいろいろな物が打ち上げられて残っています。貝殻、流木など自然の物から、漁具や1000円ライターのような人工の物まで、さまざまな物がありますが、中でも目立つのが、ペットボトルやガラ



石狩浜に漂着した外国の瓶、ペットボトル

ス瓶などの容器です。そのほとんどは見なれたジュースやお茶、ドリンク剤などですが、よく見ると、ときどき見られない物を目にします。外国の瓶です。

昨年、いくつめかの大きな台風が過ぎ去った後、石狩浜海水浴場から石狩湾新港まで歩いてみました。確かに、ボトルがたくさん漂着しています。大半は日本の物ですが、外国のものかなり混じっています。外国と言っても、英語が書かれた瓶はありません。ほとんどがロシア文字か、ハングル文字が書かれた物でした。異国の川や海岸から流れてきたのか、船上から捨てられたのか。どちらにしても、エボシガイが付着している瓶も多く見られることから、ある程度長い間、海上を漂っていたことがうかがえます。

ロシアの瓶で多いのは、やはり БОДКА (ウオッカ) や ПИВО (ビール)。ハングル(主に韓国?) の物は、ドリンク剤らしき物が目立ちます。飲み物だけではなく、以前には、ちよつと危険な物を見

つけたこともありました。H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> (過酸化水素) と書かれたポリタンクです。過酸化水素は、ごく薄いものはオキシドールとして知られる消毒薬として使われていますが、濃いものは強い酸化力を持ち、有機物を分解してしまう劇薬です。

そんな恐い物もたまにはありますが、他にもフランスやオランダのポリ容器など、いろいろな国から漂着物がやってきます。石狩浜は、世界につながっているのです。台風通過後だけでなく、強い季節風が吹きつける冬の時期も、世界各地からの「たより」を見つけるチャンスです。

(志賀健司)



エボシガイが付着した韓国のボトル。エボシガイといっても貝ではなくフジツボの親せきで、漂流物や船底に付着して生活します。



韓国製の過酸化水素タンク

※2月20日、石狩浜でビーチコーミング(漂着物さがし)を開催します(詳細は16ページ)。

■文化財課 ☎72-6123

✉bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

■いしかり砂丘の風資料館 ☎62-3711

✉i-museum@bz01.plala.or.jp

■石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107 (冬期 ☎72-3240)

✉ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

# ごみをへらそう

●ごみ対策課 ☎72-3126 ☎75-2275 ✉gomi@city.ishikari.hokkaido.jp

今月の  
キャッチフレーズ

ごみ出しマナーで地域の輪!

## 冬こそ守ろう! ごみ出しルール

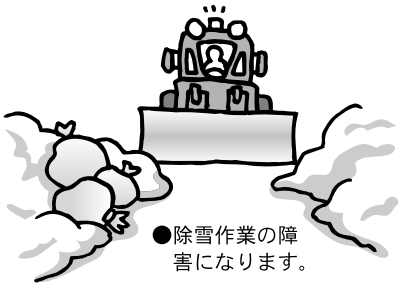
### ごみ出しルール 5か条

- ① 正しく分別しましょう  
分別されていないごみは、「ルール違反」として、ごみステーションに残されてしまいます。
- ② 透明・半透明の袋で出しましょう  
黒いごみ袋・段ボール箱など、中身の見えない容器は使用できません。
- ③ 収集日を守りましょう  
収集日以外に出されたごみは、収集できません。「家庭ごみ分別カレンダー」などで、お住まいの地区の分別区分ごとの収集日を確認してください。
- ④ 決められた時間に出しましょう  
〈ごみを出す時間〉  
当日の朝8時30分まで  
(花川南7条～10条は8時まで)  
〈資源物を出す時間〉  
当日の朝9時まで  
収集日前日の夜や、収集が終わった後には出さなくてください。
- ⑤ 決められたごみステーションに出しましょう  
ごみステーションは町内会で管理しています。地域で決められたごみステーションに出しましょう。



雪が多いこの季節は、ごみ出しが大変な季節でもあり、この時期のルール違反ごみは、まちの美観を損なうばかりでなく、除雪作業の障害になるなど、道路管理にも支障をきたします。快適な環境を維持するために、ごみ出しルールを再確認しましょう。

### ごみ出しルールを守らないと...



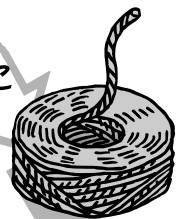
前日の夜に出されたごみや、ルール違反でごみステーションに残されたごみは...



ごみ出しマナーとルールを守って、  
快適な冬を過ごしましょう。  
皆様のご協力をお願いします。

古紙リサイクルに  
ひと工夫

「紙ひも」を  
使ってみませんか?



最近、資源回収に出す古紙を束ねる道具として、「紙ひも」が注目されています。

古紙をビニールひも(ずらんテープなど)で束ねて出した場合、ビニールひもは最終的に「ごみ」として処分されますが、紙ひもで束ねた場合は、古紙といっしょにリサイクルできるので、ごみの発生抑制につながります。紙製のため水に弱いという欠点はありませんが、古紙のリサイクルには非常に効果的です。紙ひもをぜひ一度お試しください。

※集団資源回収日は、実施している団体(町内会やPTA等)により異なります。実施団体に確認のうえ、出してください。